

# 各地域で行われた行事の紹介

## 本郷第三連合町内会

### 合同防災訓練

10月16日(日)10時~12時  
鍛冶ヶ谷北谷公園にて合同防災訓練を開催しました。

上々のお天気の中、スタッフを含め148人の参加がありました。

主催者・来賓挨拶の後、「はしご車」の救助訓練(ローレルスクエア港南台C棟8階のベランダからの避難)や公園での訓練を行い、自分たちができることを身につけました。



## 若竹山手町会

### スタンドパイプ初期消火訓練

9月25日(日)「スタンドパイプを使った初期消火訓練」を実施しました。

スタンドパイプ購入後初めての訓練となり、スタンドパイプを引いて坂道を登り、道路上にある消火栓のマンホールを開け、放水しました。

実際に体験することで、操作方法や重さ、消火栓の水圧の強さ、筒先の操作方法等、様々なことが実感できました。

今後も多くの会員が体験できるように毎年訓練を行います。



## 消費生活推進員

### 「繊維リサイクル工場見学」

6月21日(火)繊維リサイクルの「ナカノ株式会社」に16名で見学に行ってきました。

家庭から出された、古着・古布が回収され繊維の種類や物の状態によって手作業で分別されます。

その後、古着として海外に輸出し、破れがあるものや冬物などはウェスにしたり、機械で綿状に戻し、軍手や自動車の断熱材などに再利用されている事が分かりました。



## 鍛冶ヶ谷町内会 夏祭り

7月30日(土)3年ぶりに夏祭りを鍛冶ヶ谷西公園で開催しました。コロナ対策で食べ物は中止し、おもちゃのくじ引き、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、射的、輪投げ、魚釣りなど、主に子どもを対象とした露店を開きました。

また、盆踊りは中止とし、ステージを設けてバンドの生演奏やフラダンスを楽しんでもらいました。

暗くなってから、子ども花火を打ち上げた後、子どもたちへのお菓子の配布と大抽選会を行い、大いに盛り上がりました。



広報分科会：軽野幸男 片山栄一 本間和男 篠田正之 坂本友子 原菜  
(編集委員) 佐野也須子 原田和夫 荒井文夫 後藤孝子 渡邊雅代  
協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ  
連絡先：中野地域ケアプラザ  
(担当：遠山 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

本郷第三地区  
支えあいネットワーク  
ホームページ



<https://honsan-net.com>

本郷第三地区支えあいネットワークだより

# 本三みらい

【発行者】

◇本郷第三地区  
支えあいネットワーク  
代表 渡邊 すみ江

本郷第三地区とは以下の9町内会・自治会が属する地域です。(あいうえお順)

- 鍛冶ヶ谷町内会
- 港南台プリンスハイツ自治会
- 中野町内会
- 本郷富士見ヶ丘自治会
- 元大橋町内会
- ラーバン港南台自治会
- ローレルスクエア港南台自治会
- 若竹町内会
- 若竹山手町会

誰もが安心して暮らせるまちの実現にむけて、身近な地域の支えあい・見守りあいの仕組みづくりを進める「第4期 栄区地域福祉保健計画」が令和3年度からスタートしています。本郷第三地区のスローガンは、「顔の見えるまちづくり～お互いの配慮によって支えあおう～」です。これに対応した7つのテーマに沿って「支えあいネットワーク」の5分科会で取り組みを進めています。

## 本郷第三地区支えあいネットワーク主催

### 講演会 認知症の理解と介護 が開催されました

10月1日(土) 中野地域ケアプラザの協力により、川崎幸クリニック院長の杉山孝博先生を迎えて開催されました。

講演会は「ぼけても心は生きている」という先生の言葉から始まりました。

認知症を理解するための症状をいくつか紹介します。



- 食べたことや最近体験したことを忘れ、昔の世界に戻る。
- 自分に不利なことは認めない。
- 言動はすぐに忘れるが感情は残る。
- 強く対応すると強い反応が返ってくる。

これらを念頭に置き介護するためには、演技力が有効とのことです。演技力とは症状から見られる言動を否定するのではなく、認めて対応することです。時には嘘をつくことも重要な演技の一つです。

認知症の人を家族が介護する場合、病気と分かっている、つい声を荒げて厳しい言い方と態度をとってしまいがちですが、演技とまではいなくても、強く対応せず優しい言葉と思いやりで接することが必要です。

現状では認知症の予防法は無いとの事ですが、適度な運動、食生活に注意し、楽しい生活を送ることで発症を低減出来るそうです。

認知症について、そして認知症の人とその家族の関わり方を理解できる講演会でした。

参加された方々からは、「親族の介護に参考になった」「具体的に、実践的な対応のコツが分かった」「認知症の人との会話に自信が持てるようになった」「将来に向けて心構えができた」「介護する場合は、自分にゆとりと穏やかさが必要で、相手に寛容であることが大切だと思った」等の感想が寄せられました。



# ふれあいスポーツまつりが開催されました

11月3日（祝日）さわやかな秋晴れの中、コロナ禍で中止していましたふれあいスポーツまつりが、3年ぶりに本郷小学校の校庭で開催されました。



◆本郷小学校マーチングバンドのすばらしい演奏後、開会式で山田会長、富士田栄区長の挨拶があり、



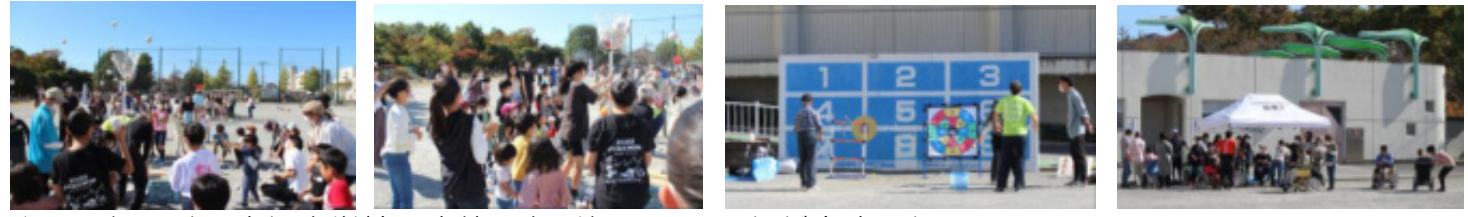
◆約500名の参加者がラジオ体操で体をほぐし、最初の競技の未就学児よーいどんが始まりました。



◆続いてのスプーンレースも、そして魚つり競走でも大人も子どももみんな真剣な顔つきです。



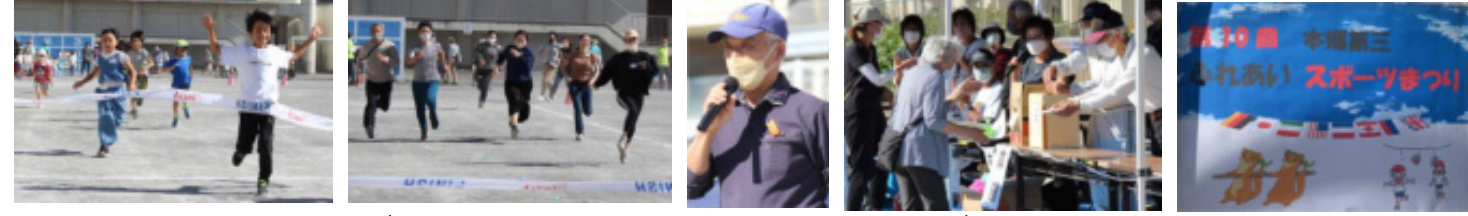
◆障害物競走ではマットの上で、でんぐり返りをし、ネットをくぐり、最後に平均台を渡ります。



◆玉入れでは、本郷中学校の生徒にお手伝いいただきました。



◆パン食い競走は、コロナ感染防止のため、手づかみ取ります。朋第2の皆さんも笑顔です。



◆徒競走ですべての競技が終わり、閉会式の後、抽選会で盛り上がりました。皆様お疲れさまでした。



# 本郷小学校 創立130周年の式典・祝賀会が開催されました

～「はとまる」に込められた子どもたちの想い  
「笑顔、平和、いじめ0」の学校を目指して～

横浜市立本郷小学校  
校長 山崎 浩一郎



令和4年10月5日（水）は、本郷小学校130回目の誕生日でした。児童実行委員会が企画し、全校で「お祝いの集会」を行いました。125周年記念の時に作成された「みらいへはばたけ 希望の星」という歌の歌詞として、新たに3番の歌詞を追加し、全校で歌ったり、児童全員の想いの詰まった巨大バースディケーキを作り上げたりして楽しみました。6年生児童が考案したイメージマスコットの「はとまる」も登場し、130の数字のローソクを立ててくれました。

10月15日（土）には、栄区富士田区長、栄区細田連合町内会長をはじめ、本郷第三連合山田会長、保坂顧問など85余名のご来賓を迎え、総勢約130名で、記念式典・祝賀会を盛大に行うことができました。そこでは、卒業生の代表の方々に当時の学校生活や地域の様子をお話していただいたり、栲澤実行委員長制作の「本郷の歴史スライド」を上映したりしました。最後は、創設30周年を迎えたマーチングバンドの演奏を披露しました。学校を愛する多くの皆様とともに、130年の歴史と伝統に育まれてきた本郷小学校の創立をお祝いできたことに感謝申し上げます。

これからも、「地域に誇れる学校、地域が誇れる学校」として、「繋がり」を大切に、「はとまる」の思いを実現する学校として歩み続けます。引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 本郷小学校の主な歴史

- 明治25年（1892年）10月5日  
神奈川県鎌倉郡本郷村立尋常高等本郷小学校として開校
- 大正12年（1923年）  
本郷村立尋常高等小学校に改称
- 昭和22年（1947年）  
本郷村立青年学校廃止、横浜市立本郷小学校と改称
- 昭和35年（1960年）  
中野分校（現在地）に本郷小学校を移転
- 平成4年（1992年）  
創立100周年記念式典

